

平成24年度 相楽東部広域連合立笠置中学校 グランドデザイン

相楽東部広域連合の重点

- (1) “相楽東部ならでは”の教育の一層の推進
 - ◇広域連合のよさを活かした学校教育の推進
 - ◇我がふるさとを愛し、我がふるさとを誇りに思う児童生徒の育成
- (2) 質の高い学力をはぐくむこと
 - ◇基礎・基本の定着、活用する力の育成、学習意欲の向上
 - ◇校長のリーダーシップと組織による実践
- (3) 豊かな人間性の育成
 - ◇道徳教育、人権教育の一層の充実
 - ◇規範意識の醸成、他人を思いやる心の充実

教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成に努め、生涯にわたる学習の基礎を培う。

生徒の応援団

目指す教師の姿

- ・生徒一人ひとりの理解に努める教師
- ・生徒をほめて、よさを伸ばす教師
- ・深く教材を理解する教師

期待する家庭の姿

- ・生活習慣、コミュニケーションなど、生きていく上で必要なライフスキルを身に付ける援助ができる家庭

期待する地域の姿

- ・学校と連携して生徒とかかわり、支えられる地域

☆目指す学校像 「地域に愛される学校」

～笠中に通わせてよかったと言われる学校～

☆目指す生徒像 「たくましく未来に伸びる生徒」

自分で考える力（展望する力）

進路実現や生涯学習の基盤となる
「質の高い学力」

取組

- ・学習規律、学習習慣の指導
- ・基礎基本定着のための取組
(SP少人数学習講座、週末宿題他)
- ・各教科での課題学習 ・各検定にむけた学習
- ・体験学習 ・各教科等での生徒発表、レポート作成
- ・キャリア教育 ・「個別の指導計画」の作成
- ・小中連携（小6⇄中1の学習接続の強化）
- ・協同学習

評価方法

- ・公開授業 ・生徒の自己評価、他者評価
- ・個人レポート（活用する力）
- ・評価評定、CRT、診断テスト・授業アンケート
- ・学校評価（自己評価、学校関係者評価）

自他を認め話せる力（つながる力）

自他やふるさとを愛し、
まもろうとする心

取組

- ・全教師による道徳授業
- ・人権教育の視点での学級づくり
- ・総合人権学習
- ・ふるさと学習（総合）
- ・規範意識を高める指導
- ・朝読書
- ・協同学習 ・言語活動

評価方法

- ・公開授業 ・生徒の意識アンケート
- ・学級経営 ・生徒感想文、意見作文
- ・学校評価（自己評価、学校関係者評価）

あきらめない力（挑戦する力）

社会に参画し、貢献できる
心身のたくましさ

取組

- ・縦割り集団活動
- ・体験学習（宿泊学習、職場体験学習）等
- ・リーダー会 ・食育 ・部活動
- ・委員会、係活動
- ・地域社会との連携

評価方法

- ・ブロック活動（体育大会）
- ・スキー学習、修学旅行
- ・学級経営 ・体力診断テスト、健康診断
- ・生徒会活動 ・生活態度
- ・学校評価（自己評価、学校関係者評価）